

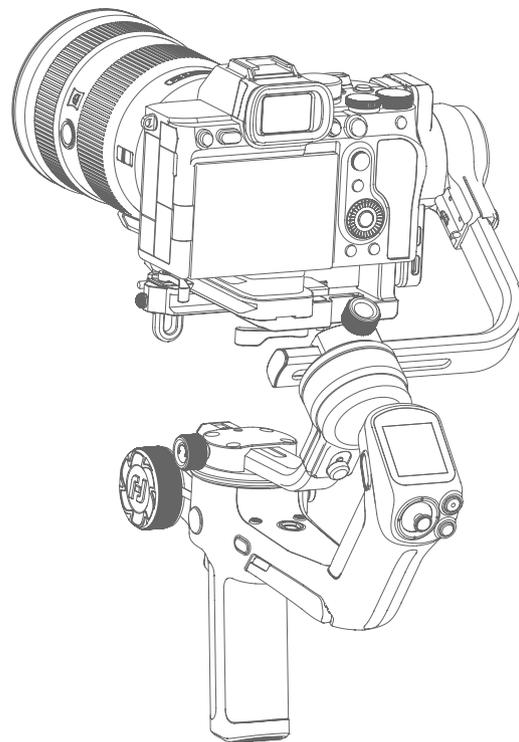


# SCORP 2

Quick Start Guide

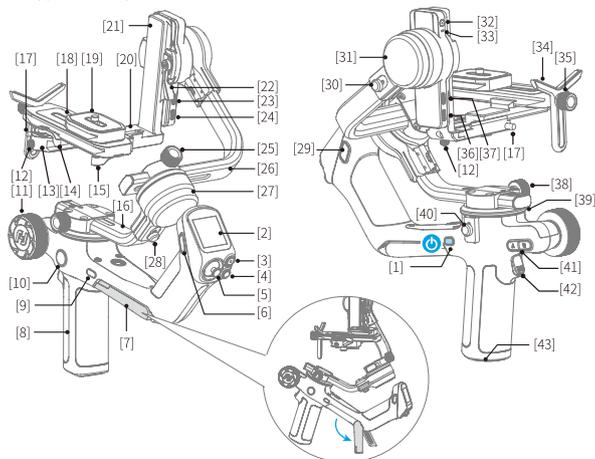
クイックスタート

V1.1



## 1. 概要

※ カメラは含まれません。



- |                      |                         |  |
|----------------------|-------------------------|--|
| [1] 電源ボタン            | [17] アンチスリップロック         | [33] トラッキングモジュールインジケータ                     |
| [2] タッチディスプレイ        | [18] クイックリリースプレート       | [34] スライダーアンチスリップロック                       |
| [3] 撮影ボタン            | [19] アルカクイックリリースプレート    | [35] レンズホルダー固定ノブ                           |
| [4] モードボタン           | [20] 固定プレート             | [36] エクスパンションインターフェース 2                    |
| [5] ジョイスティック         | [21] スライドアーム            | [37] カメラ制御ポート / USB-C 電源出力ポート <sup>①</sup> |
| [6] F1 ボタン           | [22] アーム固定ロック           | [38] クロスアームロックノブ                           |
| [7] キックスタンド          | [23] 画像伝送ポート            | [39] バン軸                                   |
| [8] ハンドル             | [24] エクスパンションインターフェース 1 | [40] バンロック                                 |
| [9] FPV ボタン          | [25] クロスアームロックノブ        | [41] A/B ボタン                               |
| [10] ノブ機能スイッチボタン     | [26] クロスアーム             | [42] トリガーボタン                               |
| [11] 多機能ボタン          | [27] ロール軸               | [43] 1/4 インチの三脚ねじ穴                         |
| [12] スライダーアンチスリップロック | [28] ロールモーターロック         |  |
| [13] スライダー           | [29] F2 ボタン             |  |
| [14] クイックプレート固定ロック   | [30] チルトモーターロック         |  |
| [15] アーム固定ロック        | [31] チルト軸               |  |
| [16] 垂直アーム           | [32] トラッキングモジュールカメラ     |  |

① USB 電源供給プロトコルに対応する撮影デバイスの充電をサポートします。

## 詳細な説明書

以下の手順に従って操作すれば、製品の基本機能をいち早くご体験いただけます。その他の機能の使用方法については詳細な説明書をご覧ください。

<https://www.feiyu-tech.com/feiyu-scorp-2/>



## App ダウンロード

QR コードをスキャンするか、アプリストアで "Feiyu SCORP" を検索しダウンロードしてください。

※ iOS 11.0 以降、Android 6.0 以降のバージョン。



iOS

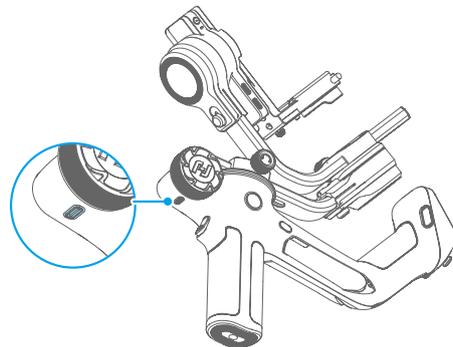


Android

## 2. 準備作業

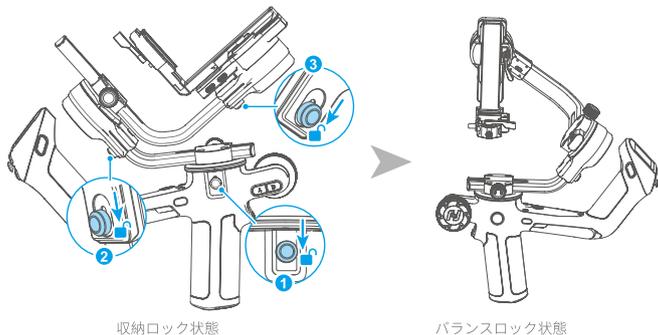
### 2.1 充電

初めて使用する前に、スタジンバルを完全に充電することをお勧めします。USB-C ケーブルを使用して充電する場合、急速充電に対応します。



## 2.2 展開してバランスロック状態にする

工場出荷時は、スタジナル本体が収納・ロック状態になっていますので、次の操作をしやすいするため、それぞれ3軸モーターロックをロック解除位置にセットし、3軸の位置をバランスロック状態に調整してから、3軸モーターをロック位置にセットします。

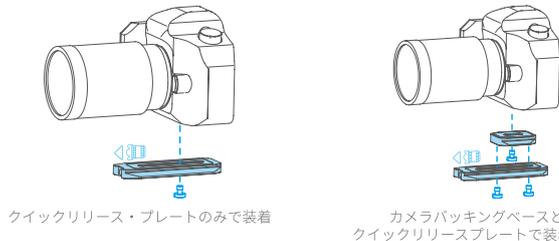


## 3. 撮影機器の取り付け

取り付ける前に、カメラの撮影準備が整っていることを確認し（レンズ、メモリーカードが取り付けられていて、バッテリーが取り付けられていて且つ十分な電力があること、レンズキャップを取り外すこと）、**「2. 準備作業」**の手順が完了し、スタジナルが**バランスロック状態**になっていることを確保し、スタジナルをシャットダウンまたは休止状態にします。

### 3.1 クイックリリース・プレートとカメラ・バックング・ベース（別売）を取り付ける

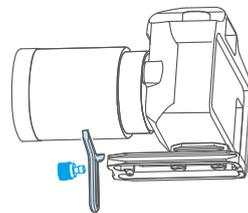
ネジを締めてクイックリリースをカメラに取り付けます。長いレンズや重いレンズを使用する場合など、必要に応じてカメラバックングベースを取り付けることができます。カメラバックングベースをカメラに取り付け、2本のネジを締めてクイックリリースプレートに取り付けます。



JP

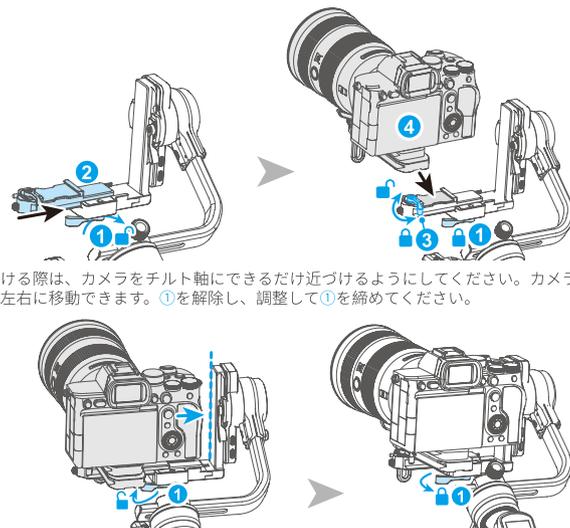
### 3.2 レンズブラケット取付け（オプション）

必要に応じて、クイックリリースプレートにレンズブラケットを取り付けて固定する方法もあり、ブラケットのゴム部をレンズに当て、レンズブラケット固定ノブを締め付けます。長くても重いレンズが搭載されている場合には、このブラケットを取り付けることをお勧めします。



### 3.3 スタジナルへの取付け

①を解除し、②をスロットに挿入し、①を締め、③を緩め、指示に従って④をスロットに挿入し、カメラを前後にだまかにバランスをとった後、③を締めます。



## 4. バランス調整

撮影前にスタジナルカメラに対しバランス調整を行う必要があります。例としてカメラを取り上げます。調整を行う前に、カメラとレンズが撮影の準備ができていることを確認してください。レベリング時には、スタジナルをシャットダウンまたは休止状態にする必要があります。

**スライドアーム / 水平アーム / 垂直アームを動かす前に、カメラを手で持っておくことをお勧めします。**



教育ビデオ

### 4.1 チルト軸バランス調整

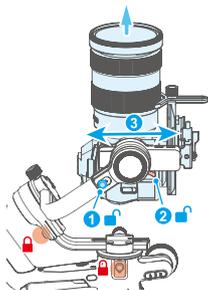
#### 4.1.1 チルト軸の垂直バランス

a. チルト軸モーターロック①を開き、アーム固定ロック②を緩めます。

b. カメラのレンズを垂直に上向きにし、カメラの傾き方向を観察します。

c. カメラレンズが片側に傾いている場合は、重心が傾いた側に傾いていることを意味するため、スライドアーム③を傾斜の反対方向に動かす必要があります。カメラレンズが垂直に上向きになったら、調整が完了です。

d. アーム固定ロック②を締め付けます。締め付けるときは、カメラを持ち上げて固定する必要があります。



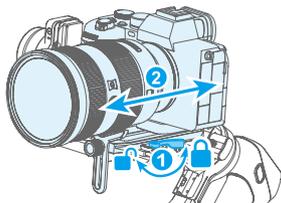
#### 4.1.2 チルト軸の前後バランス

a. カメラのレンズを水平に前方に回し、カメラの傾き方向を観察します。

b. カメラのレンズが片側に傾いている場合は、重心が傾いている側に傾いていることを意味するため、クイックプレート固定ロック①を緩め、カメラを傾きの反対方向に動かす必要があるが、カメラのレンズが水平で前方に向くようになったら調整が完了です。

c. クイックプレート固定ロック①を締め付けます。締め付けるときは、所定位置まで固定できるようにカメラを手で支えながら固定する必要があります。

チルト角度が約45°上下してもカメラが静止状態が保てるようになったら、チルト軸のバランス調整が完了です。



JP

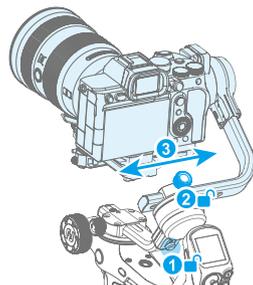
### 4.2 ロール軸バランス調整

a. ロール軸モーターロック①を開き、カメラの傾き方向を観察します。

b. カメラが片側に傾いている場合は、重心が傾いた側に傾いていることを意味するため、クロスアーム固定ノブ②を緩め、クロスアームを傾斜の反対方向に動かす必要がありますが、クロスアームが水平でバランスが取れるようになったら調整が完了です。

c. クロスアーム固定ノブ②を締め付けます。

カメラが水平角度で静止状態が保持できるようになったら、ロール軸バランス調整が完了になります。



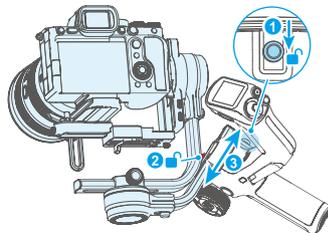
### 4.3 パン軸バランス調整

a. パン軸モーターロック①を開き、ジンバルの三脚を持ち、地面と平行になるようにジンバルを前方に傾けます。

b. カメラが片側に傾いている場合は、重心が傾斜側に傾いていることを意味するため、垂直アーム固定ノブ②を緩め、垂直アーム③を傾斜の反対方向に動かす必要があります。垂直アームの水平バランスが取れるようになったら、調整が完了です。

c. 垂直アーム固定ノブ②を締め付けます。

カメラが水平角度で静止状態が保てるようになったらパン軸のバランス調整が完了になります。



## 5. 操作

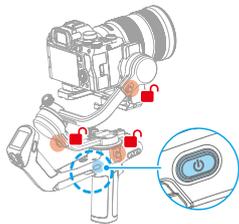
### 5.1 電源オン / 電源オフ

電源をオンにする前にバランス調整が完了していることを確認し、必ず3軸モーターロックのロックを解除してください。

すべてのロックが解除されていないままオンにすると、休止状態に入り、保護状態になりますので、すべてのロックを解除し、電源ボタンをワンタップしてジンバルを喚起してください。

! カメラやレンズを初めて使用または交換する場合は、電源を入れてから先にモーターの出力を調整してください。

電源ボタンを長押しし、操作音が聞こえたら離せばオン / オフできます。



## 5.2 フォローモード紹介

**PF:** パンフォロー、パン軸のみがユーザーの手の動きに追従します。

**PTF:** パン・チルトフォロー、パン軸とチルト軸の両方がユーザーの手の動きに追従するが、ロール軸は追従しません。

**FPV:** パン、チルト、ロールの3軸すべてがユーザーの手の動きに追従します。

**Lock:** 3軸ともユーザーの手の動きに追従せず、ジンバルがカメラの向きを固定します。

**FFW:** フラッシュフォローの場合、3軸すべてがユーザーの手の動きに追従し、高速に追従します。

## 5.3 ボタン操作



### 電源ボタン

長押し: 電源オン / オフ  
ワンタップ: 喚起 (スリープ中)  
/ 電池残量表示 (電源が切れているとき)  
ダブルタップ: 休止



### トリガーボタン

ダブルタップ: リセット  
トリプルタップ: セルフィーの切替え / 終了 (パン軸が 180° 回転する)  
押し続: けるとフルロックモードに入ります (指を離すと終了します)

この動作操作機能は、APPを通じて変更できます。



### モードボタン

シングルクリック: パンフォロー (デフォルト) / PTF/FPV (順番に切り替え)  
5回クリック: 水平校正



### ジョイスティック

プッシュ: チルト軸とパン軸の回転を制御します



### 撮影ボタン\*

軽く押す: フォーカス  
ワンタップ (全押し): 録画  
長押し (全押し): 写真撮影



### FPV ボタン

ワンタップ: 全域フォロー開始 / 終了



### F1 ボタン

ダブルタップ: ポートレートモードに入る / 終了する  
トリプルタップ: 電源のオン / オフ

長押し: AI トラッキングのオン / オフ (AI パワーがオンの場合)



### F2 ボタン

ワンタップ:  
(1) 画面ロック / ロック解除 (ホーム画面にある)  
(2) メインページに戻る (ホーム画面以外の場合)

ダブルタップ: フラッシュフォローモードに入ります (FFW)

長押し: モーター力自動調整を開始

### キーコンビネーション:

F1 キーを長押し + F2 キー: Bluetooth をクリア

\* (1) 一部の機能には特定のカメラまたはのサポートが必要な場合があります。対応デバイスのリストは、公式ウェブサイトでご確認いただけます: <https://www.feiyu-tech.com/feiyu-scorp-2/>

(2) 本製品は Feiyu SCORP アプリと併用することをお勧めします。



### A/B ボタン

長押し: 現在位置を A/B としてマーク  
シングルタップ: マークした位置 A/B に戻る

軸 / フォーカス位置のマーク付けに使用できます。



### 多機能ノブ

回す:

- (1) ロール、チルト、パンの角度を制御します。
- (2) フォローフォーカス / 電子ズーム。
- (3) フォローフォーカスを制御します。
- (4) タッチスクリーンのパラメータを調整します

ノブ機能切替ボタンを長押しするが、ディスプレイのホーム画面をスワイプすることで、現在の制御可能なオプションを (1) / (2) / (3) に設定できます。



### ノブ機能切替ボタン

ワンタップ:

- (1) 3軸角度をコントロールする際に、コントロール対象 (チルト / ヘディング / ロール) を順次に切り替える
- (2) 電子フォローフォーカス、電子ズーム時に電子フォローフォーカス / 電子ズームを順次に切り替える

長押し: 多機能ノブ制御オプションを順番に切り替えます (3軸角度 / 電子フォローフォーカス / フォローフォーカス)

## 5.4 画面操作



ホーム画面



### モータ出力

自己適応型のモーター出力を設定でき、各軸のモーター出力を個別に設定することも可能



### トラッキングスピード

トラッキングスピードを設定することでトラッキングスピードをカスタマイズできます



### トラッキングモード

ジャンパルのトラッキングモードを設定

↶ PF

↷ PTF

⊗ FPV

🔒 Lock

⚙️ FFW



### 使用シーン

シーン別の機能適用



### 左にスワイプ

ジョイスティック、PTZ  
及びその他の設定



### 右にスワイプ

撮影パラメータ設定



### 上にスワイプ

多機能ノブ関連の設定

## 5.5 AI トラッキング

AI 電源オンの状態で、以下のコントロールが使用可能です:

## JP

## AI ジェスチャーコントロール



**OK ジェスチャー (左手または右手) : トラッキングを開始 / トラッキングを終了**

トラッキングが開始され、インジケータは緑色に点灯します。このジェスチャーをもう一度行ってください、ラッキングを終了し、スタンバイモードに入り、インジケータは赤色に点灯します。2回のジェスチャーは3秒以上間隔を空ける必要があります



**逆方向のジェスチャー: トラッキングを終了**

トラッキングを終了し、スタンバイモードに入り、インジケータは赤色に点灯します。



**手のひらを広げる (左手または右手) : 写真を撮影 / ビデオを撮影**

写真 / ビデオ撮影モードでは、3秒のカウントダウンと音声シグナルが付いており、カウントダウンが終了すると撮影が開始されます。  
(7) ビデオ録画を開始した後、新しいジェスチャーで録画を停止します。



**ダブルL字型ジェスチャー: カスタムフレーム**

フレーミングを開始し、緑のライトが速く点滅します。対象が希望の位置に移動した場合、このジェスチャーを再度実行してフレーミングを完了し、緑のライトが点灯し続けます。

## ボタン操作

F1 キーを長押し: トラッキングを開始 / トラッキングを終了

F1 キーをトリプルタップ: 電源のオン / オフ

## 6. パラメータ

製品名

Feiyu SCORP 2 3-Axis Handheld Gimbal for Camera

製品モデル

FeiyuF2-2

チルト角度の動作角度

+200° ~ -120°

ロール角度の動作角度

+245° ~ -75°

パン角度の動作角度

360°

製品重量 (ボディ)

約 1070

最大荷重

約 1200g (重心バランス状態で)

バッテリー駆動時間理論値

約 13 時間

電池容量

2500mAh

作動電圧

6.8V-8.4V

適応

ソニー、キヤノン、ニコン、パナソニックカメラなど (詳細な適合カメラとレンズの情報については、公式ウェブサイトの適合リストをご覧ください。)ソニー、キヤノン、ニコン、パナソニックカメラなど

## パーツ

- |   |                        |
|---|------------------------|
| [1] USB-C 充電ケーブル x1                           | [2] クイックリリースプレート x1    |
| [2] USB-C から Micro カメラコントロールケーブル x1           | [3] アルカクイックリリースプレート x1 |
| [3] USB-C から USB-C カメラコントロールケーブル x1           | [4] レンズホルダー x1         |
| [4] USB-C から TRS2.5 カメラコントロールケーブル x1          | [5] レンズホルダー固定ノブ x1     |
| [5] USB-C からマルチカメラコントロールケーブル x1               | [6] カメラ固定ネジ x1         |
| [6] USB-C から 2.5mm カメラコントロールケーブル (DC2.5mm) x1 |                        |
| [7] USB-C から TRS3.5 カメラコントロールケーブル x1          |                        |
| [8] USB-C からミニカメラコントロールケーブル x1                |                        |
| [9] 三脚 x1                                     |                        |
| [10] フィクスチャードボード x1                           |                        |
| [11] スライダ x1                                  |                        |

### キットバージョン追加機能:

- |                          |
|--------------------------|
| [17] ARRI ロゼット拡張アクセサリ x1 |
| [18] 拡張モジュール x1          |
| [19] カーボンファイバーロッド x1     |
| [20] 収納バッグ x1            |

## JP

### JP

#### 注意

1. 製品の電源投入中および電源投入後に、モーターの回転が外力によって妨げられていないことを確認してください。
2. 本製品を水やその他の液体にさらさないでください。
3. 製品全体を分解しないでください。誤って分解して異常な動作をした場合は、再度デパッキングを行うので、ご返送ください。これによって生じる費用はすべて顧客が負担します。
4. 長時間稼働を続けると、製品表面の温度が上昇する場合がありますので、注意してご操作ください。
5. 本製品を落としたり、ぶつけたりすることは厳禁します。本製品を落としたり、ぶつけたりすると、破損して異常動作の原因となることがあります。落下や衝突により異常な動作が発生した場合は、速やかにアフターサービスにご連絡ください。

#### 保管とメンテナンス

1. 本品は子供やペットの触れない場所に保管してください。
2. 本製品を熱源（ストーブやヒーターなど）の近くや暑い日に車内に置くことは禁止します。
4. 乾燥の環境で保管してください。
4. 電池を過充電したり、過放電したりしないでください。セルに損傷を与える原因となります。長期間使用しない場合は、月に1回以上充電することをお勧めします。
5. 温度が高すぎたり低すぎたりする環境で本製品を使用しないでください。

#### FCC regulatory conformance:

This device complies with Part 15 of the FCC Rules. Operation is subject to the following two conditions:

- (1) This device may not cause harmful interference.
- (2) This device must accept any interference received, including interference that may cause undesired operation.

#### NOTE

This equipment has been tested and found to comply with the limits for a Class B digital device, pursuant to part 15 of the FCC Rules. These limits are designed to provide reasonable protection against harmful interference in a residential installation.

This equipment generates uses and can radiate radio frequency energy and, if not installed and used in accordance with the instructions, may cause harmful interference to radio communications. However, there is no guarantee that interference will not occur in a particular installation. If this equipment does cause harmful interference to radio or television reception, which can be determined by turning the equipment off and on, the user is encouraged to try to correct the interference by one or more of the following measures:

- Reorient or relocate the receiving antenna.
- Increase the separation between the equipment and receiver.
- Connect the equipment into an outlet on a circuit different from that to which the receiver is connected.
- Consult the dealer or an experienced radio/TV technician for help.

#### NOTE

The manufacturer is not responsible for any radio or TV interference caused by unauthorized modifications to this equipment. Such modifications could void the user's authority to operate the equipment.

#### RF Exposure

This equipment complies with FCC radiation exposure limits set forth for an uncontrolled environment.



Manufactured by/Hergestellt von/Fabricant/Fabricado por/Produttore:

Guilin Feiyu Technology Incorporated Company

制造商：桂林飞宇科技股份有限公司

Website/Website/Site Web/Sitio web/Sito web: [www.feiyu-tech.com](http://www.feiyu-tech.com) 网址：[www.feiyu-tech.cn](http://www.feiyu-tech.cn)

E-mail/ 邮箱 /E-Mail/Courriel/Correo electrónico/E-mail: [support@feiyu-tech.com](mailto:support@feiyu-tech.com)

Tel/Telefon/Tél./Teléfono/Telefono: +86 773-2320865 电话：400-990-6118 ( 仅限大陆地区拨打 )